

設問 1

登録基幹技能者制度に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として位置付けられる
- ロ 優秀施工者国土交通大臣顕彰者(建設マスター)も登録基幹技能者講習の受講資格要件である
- ハ 登録基幹技能者は、10年毎の更新により能力水準を担保している
- ニ 登録基幹技能者は、工事の品質向上のみならず、建設産業の担い手の確保・育成に寄与することが期待されている

設問 2

登録基幹技能者の活用に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 建設業法において、主任技術者の要件の1つとして認められている
- ロ 建設キャリアアップシステムにおいて、能力評価基準の最高位であるレベル1要件の資格として位置付けられている
- ハ 公共工事における総合評価落札方式においても評価・活用されている
- ニ 元請企業の優良技能者認定制度等にも活用されている

設問 3

登録基幹技能者の役割に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 前工程・後工程を配慮せず、自工程を優先して工事を完成させる
- ロ 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成を図る
- ハ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示・指導を行う
- ニ 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整を行う

設問 4

建築のものづくりに関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 一人で作ることはできない共同作業である
- ロ 誰でもつくれるものではなく、職人がつくる
- ハ 設計図通り、指示通りにつくれば良い
- ニ 人に頼まれてからつくる

設問 5

登録基幹技能者制度の意義の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 国土交通省が「技能者」という言葉を認定した
- ② 国土交通省が単なる「名称独占」に終わらない制度として推進している
- ③ 技能者の最高位として業界全体が認知する共通の尺度ができた
- ④ 基幹技能者は建築のものづくりを支える人である

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 6

OJT 教育の特質の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① OJTは上司の仕事そのものである
- ② 成長を促すため、部下のペースよりテンポを速くする
- ③ 外部との接触の機会を提供する
- ④ 失敗はつきものではあるが、仕事のペースは落とさないようにする

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 7

OJTを進める上で教育目標を設定する事項の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 部下が意欲を持って取り組めるものであること
- ② 目標は定性的であるべき姿が漠然と理解できること
- ③ 目標は設定期間終了時に評価が可能であること
- ④ 日常の仕事を離れて行う指導・教育が可能な目標・項目であること

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 8

技能と技術に関する記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 技術とは、特定の人が習得した能力である
- ② 技能とは、多数の人により改善向上し受け継がれる
- ③ 優れた個人の技術を技能に置き換え発展させる
- ④ 技術と技能が協力することで、新しい装置や新しい技術を生み出す

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 9

面談指導のポイントの記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 報告を受ける時に指導する
- ② ねぎらいの言葉や明日への期待の言葉をかける
- ③ 本人の悩み、問題点を聞き取る
- ④ 問題と原因の整理を行い、未達成の部分の責任追及を行う

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 10

コーチングの記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① コーチングの効果を高めるためには、流れが重要である
- ② コーチングには「質問」・「傾聴」・「直感」・「自己管理」・「確認」の五大スキルがある
- ③ コーチングによって、個人の潜在能力を引き出し成果に結びつける
- ④ コーチングで最も重要なことは、手本をやって見せて自信をつけさせることである

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問 11

カーテンウォール施工の前段取りとして、先付けアンカーの施工精度確認・修正で、誤っているものはどれか。

- イ アンカーは取付位置だけでなく、転び、傾きの状態を確認する
- ロ アンカー固定状態の確認はハンマー等で打診する
- ハ 先付けアンカーの長ナットのネジ山損傷は、ダイスで修正する
- ニ ファスナーが図面通り納まるか否かを確認する

設問 12

サッシ調整に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 開閉作動が円滑であること
- ロ 施錠後のガタつきがあること
- ハ 付属金物の取付調整が完了していること
- ニ 施錠、開錠操作が円滑であること

設問13

サッシ及びドア本体の取付検査に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 位置決めは、陸墨・逃げ墨・返り墨を基準に位置を測定する
- ロ 倒れは、下げ振りを用いて面内及び面外の2方向を測定する
- ハ 溶接固定は、溶接漏れの無いこと及び連結筋の形状・角度・寸法を含む溶接の状態が確実であることを検査する
- ニ 曲り（反り）は、各枠の長さ規定に準じ、上枠の中央部のレベル差の規定は、下枠より小さい

設問14

サッシ・ドアの性能を示す用語の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 断熱性能は、熱が移動するのをどのくらい抑えることができるかを基準とした等級で表わす
- ロ 気密性能は、サッシ・ドアのすき間から、どのくらいの空気がもれるかを基準とした等級で表わす
- ハ 遮音性能は、室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ洩れる音をどれくらい遮ることができるかを基準とした等級で表わす
- ニ 水密性能は、サッシ・ドアがどのくらいの台風に耐えられるかを基準とした等級で表わす

設問15

アルミサッシの施工に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ 取付精度の基準は、仕上げに及ぼす影響を考慮し、±0とする
- ロ アンカー溶接に用いる鉄筋は、切断鉄筋を用い、溶断をさける
- ハ アルミサッシの受け入れ検査を実施するにあたり搬入された製品や部品など現物のみをチェックした
- ニ アルミサッシの保管は何よりも取付順序を考慮した配置にこころがけ、場所の環境はあまり気にすることはない

設問16

建設業許可の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 29の専門工事業に区分されている建設業許可は、同時に複数の工種の許可を取得することはできない
- ② A県が発注者である500万円以上の工事を請け負うためには、A県知事または国土交通大臣許可を得ておく必要がある
- ③ 一般建設業の許可業者は、2億円のカーテンウォール工事を下請負いすることができる
- ④ 建設業の許可は、国土交通大臣許可の有効期限は10年、都道府県知事許可の有効期限は5年と定められている

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問17

建設業法上の施工技術の確保の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 主任技術者および監理技術者は、建設工事を適正に施工するため、建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理、施工従事者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない
- ② 建設業者は受注金額500万円以上の建設工事を施工するときには、工事現場に監理技術者を配置しなければならない
- ③ 公共性のある施設・工作物または多数のものが利用する施設・工作物のうち、請負金額が3,500万円以上の下請工事については、主任技術者は工事現場ごとに専任でなければならない
- ④ 建設業許可を持たない業者は、主任技術者を配置しなくても良い

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問18

建設業の請負契約に関する記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 請負契約書は相互の署名または記名押印がある文書に限り、電子契約は認められていない
- ② 契約は工事内容、請負代金の額、工期などの必要事項を記載して行う
- ③ 元請が優秀と認めた施工業者とは、注文者の判断で一括下請負を行ってもよい
- ④ 元請負人は下請負人が見積りを行うために必要な一定の期間を設けなければならない

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問19

文中の(1)・(2)・(3)・(4)に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

この法律は、労働基準法（昭和二十二年法律第四十九号）と相まって、労働災害の防止のための(1)の確立、(2)の明確化及び(3)の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な(4)を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

	①	②	③	④
イ	責任体制	危害防止基準	対策	自主的活動
ロ	対策	責任体制	自主的活動	危害防止基準
ハ	自主的活動	対策	危害防止基準	責任体制
ニ	危害防止基準	責任体制	自主的活動	対策

設問20

労働者の就業に当たって事業者が行わなければならない措置の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 労働者を雇入れたときは、従事する業務の安全衛生教育を行わなければならない
- ロ 危険な業務には、免許を受けた者、所定の講習を修了した者、その他省令で定める資格を有する者でなければ業務につかせてはならない
- ハ 中高年齢者その他の労働災害の防止上その就業に当たって特に配慮を必要とする者については、これらの者の心身の条件に応じて適正な配置を行うように努めなければならない
- ニ 登録基幹技能者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、安全又は衛生のための教育を行わなければならない

設問21

従来の安全帯から墜落制止用器具に変更された記述として、誤っているものはどれか。

- イ 原則フルハーネス型を使用することとされ、安全衛生特別教育が追加された
- ロ 着用者の体重及びその装備品の重量の合計に耐えるものでなければならない
- ハ 足下にフック等を掛けて作業を行う必要がある場合は、フルハーネス型を選定するとともに、第一種ショックアブソーバを選定する
- ニ 点検・保守及び保管は、責任者を定める等により確実に行い、管理台帳等にそれらの結果や管理上必要な事項を記録しておく必要がある

設問22

化学物質のリスクアセスメントの記述として、誤っているものはどれか。

- イ 有害性を知るために、法令で定められた化学物質について、リスクアセスメントが義務づけられた
- ロ GHSに記載されているSDS分類などに即して、危険性又は有害性を特定するとよい
- ハ 業種、事業場規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取扱いを行う全ての事業場が対象となっている
- ニ 防毒マスクや防じんマスクを使用する時には、使用期限、保管方法に注意する

設問23

金属アーク溶接作業の健康障害防止措置の記述として、誤っているものはどれか。

- イ ビル用サッシの施工作业現場は、屋内作業場に分類されている
- ロ 2022年4月1日からは、各現場に特定化学物質作業主任者の選任が必要になっている
- ハ じん肺の特殊健康診断に加え、溶接ヒュームの健康診断も受けなければならない
- ニ 作業主任者を配置した場合には、作業場の見やすい所へ掲示しておく必要がある

設問24

環境保全の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 一般に建設工事は土地の形状や形態を変えることが多い
- ロ 周辺の自然環境、生活環境に与える影響は工事期間には及ぶが、建設物の完成後には及ばない
- ハ 地域住民との間にトラブルが発生しやすく、それが要因となって工程の遅れや工費の増大などを招くおそれがある
- ニ 労働安全衛生の観点から、労働環境についても適切な対策を講じなければならない

設問25

建設リサイクル法に規定された「特定建設資材廃棄物」に該当しないものはどれか。

- イ アスファルト・コンクリート塊
- ロ 建設発生土
- ハ 建設発生木材
- ニ コンクリート塊

設問26

作業方法の改善の進め方の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 作業の流れにムリ・ムラ・ムダがないとき
- ロ 作業の流れに停滞する箇所があるとき
- ハ 現場の作業方法に危険のおそれがあるとき
- ニ 作業に手間がかかり、手直しが多いとき

設問27

施工要領書作成上の注意事項の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 一般的に常識的な事項については省略する
- ロ 図面には納まり、寸法、材料名称を記載し、材質等は省略する
- ハ 施工方法は出来るだけ部分詳細図、図表等を主体とし、わかりやすいように記載する
- ニ 施工要領書は原則として、工種ごとに作成する

設問28

適切な品質管理を行った結果得られる効果の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 良いものができる
- ロ 無駄がなくなる
- ハ 工期が短縮される
- ニ 原価が上がる

設問29

文中の(①)・(②)・(③)に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

ハインリッヒの法則によれば、1件の(①)が発生する背景には、29件の(②)と、300件の(③)に至らなかった、「ヒヤリ」や「ハット」で終わった事例があるとされている。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-------|-------|-------|
| イ | 重大災害 | 軽微な事故 | 怪我や事故 |
| ロ | 軽微な事故 | 重大災害 | 怪我や事故 |
| ハ | 重大災害 | 怪我や事故 | 軽微な事故 |
| ニ | 怪我や事故 | 軽微な事故 | 重大災害 |

設問30

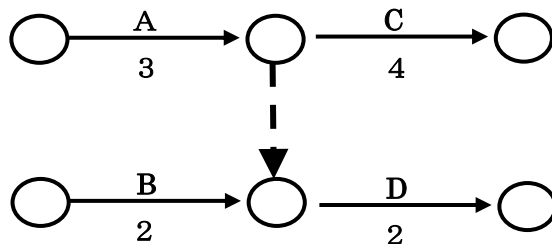
作業手順書に基づき実践した後の効果に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 作業員の配置がやりやすくなる
- ロ 作業の現状を把握するのに役立つ
- ハ 作業指示を適切に行うことができる
- ニ 職長だけで作り上げたので、ムリなく実行できる

設問31

ネットワーク工程表の表示法に関する記述として、誤っているものはどれか。

アルファベットは作業名を表し、アルファベットの下に数字は所要日数を表すものとする。



- イ A作業とB作業は同時に開始できる
- ロ C作業は、A作業が終了すれば開始できる
- ハ C作業は、B作業が終了しなくても開始できる
- ニ D作業は、A作業が終了しなくても開始できる

設問32

工程表に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ バーチャートは、一般に多く使われる
- ロ ネットワーク工程表は、各工事の施工順序が分かり、作業の前後関係もよく理解できる
- ハ ガントチャートは、他業種との関係も把握できる
- ニ ネットワーク工程表は、各作業工程の余裕日数が計算できる

設問33

工程表をバーチャートで作成する場合の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 一般的に、たて軸は作業を列記する
- ロ 一般的に、横軸は達成度を記す
- ハ 日程の割り振りについては、通常「順工法」「逆算法」「重点法」の3通りの方法がある
- ニ すべての作業についての所要作業日数を算定する

設問34

工程計画の基本的なフローとして、() に当てはまる語句はどれか。

- 各工程の施工手順の決定 → 作業日程の算定 → () → 工程表の作成
- イ 機械・設備の規模・台数等の決定
 - ロ 主任技術者の決定
 - ハ 再下請けを含めた施工体制の決定
 - ニ 有資格者の決定

設問35

日程計画を作成する上で基準とされるものは、「所要作業日数」と何か。

- イ 一日当たりの最大施工量
- ロ 一日当たりの最小施工量
- ハ 一日当たりの平均施工量
- ニ 一日当たりの目標施工量

設問36

上方許容曲線と下方許容曲線からなり、実施工程曲線が許容限界内に入るかどうかを確認することで工事の進捗度合いをチェックする工程表を何というか。

- イ 工程管理曲線 (バナナ曲線)
- ロ グラフ式工程表
- ハ ネットワーク式工程表
- ニ ガントチャート

設問37

コンテナ使用時の注意点に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ トラックへの合理的な積載方法を検討する
- ロ 外部揚重の場合は、玉掛け治具の取付方法を検討する
- ハ 製品の合理的な取り出し方法を検討する
- ニ 輸送効率を高める為、容積率100%まで積み込みする

設問38

次の保管に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 長尺材等は床上に枕木を敷き平置き保管する
- ロ 標識、カラーコーン、ロープ囲い等により保管場所を明示する
- ハ 製品の取付順序を考慮して配列保管する (先出し、後入れ)
- ニ 台車、網パレット等に載せたまま保管する場合は、車輪ストッパーを解除する

設問39

受入検査に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 購入依頼した内容と納品書等の内容が一致しているか
- ロ 納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないか
- ハ 搬入された資材に破損や変質等の異常がないか
- ニ 本体資材に問題がなければ付属品については検査を省いてもよい

設問40

積載制限に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 長さは車体全長の1.1倍をはみ出さないこと
- ロ 高さ制限は道路交通法改正で指定路線では4.2mを超えなければ許可を受けなくても通行可能となったこと
- ハ 幅は自動車の幅からはみ出さないこと
- ニ 指定路線以外を通行する車両高さは3.8mを超えないこと

設問41

i-Constructionに関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ ICT技術の全面的な活用
- ロ 現場作業の効率化
- ハ 作業工程の複雑化
- ニ 施工時期の平準化

設問42

担い手3法に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 予定価格の適正な設定・歩切の根絶などのダンピング対策強化である
- ロ 品格法と建設業法・入契法の一体的改正を言う
- ハ 担い手3法は成果がなかった
- ニ 5年間の成果を更に充実するため新・担い手3法改正を実施

設問43

文中の()に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

原価管理とは、発注者が満足する工事の質を維持し、定められた工期内で()を確保するために工事費を管理する業務をいう。

- イ 仕上げの良さ
- ロ 適正な利潤
- ハ 人員の適正配置
- ニ 安い労務費

設問44

文中の(①)・(②)に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

原価要素とは、原価を構成する要素であり、材料費、(①)、経費の三要素に分類するのが一般的だが、建設工事ではこれらに(②)を加え、「建設業の4原価要素」と呼ぶ。

- | | ① | ② |
|---|-------|-------|
| イ | 労務費 | 外注費 |
| ロ | 労務費 | 法定福利費 |
| ハ | 法定福利費 | 労務費 |
| ニ | 外注費 | 労務費 |

設問45

文中の()に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

建設業者は、建設工事の請負契約を締結するに際して、工事の内容に応じ、()に材料費、労務費その他の経費の内訳を明らかにして、建設工事の見積りを行うよう務めなければならない。

- イ 工事の種別ごと
- ロ 工事工程ごと
- ハ 作業手順書ごと
- ニ 作業者ごと

設問46

実行予算に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 実行予算は、工事原価に該当する費用の明細を、可能な限り工事着工前に予測して作成するものである
- ロ 工事の仕様や工程は、請負契約における絶対的条件であり、請負金額は発注者の承認を受けた総枠としての工事金額である
- ハ 実行予算は、企業の内部における利益管理のための資料であるが、その作成要領や書式などについては、建設業法で定められている
- ニ 実行予算として管理する範囲は、工事に関係する経営組織上の立場によっても、その広狭の度合いが異なってくる

設問47

文中の（ ）に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

工事施工のための設計図と、図面上に表示しにくい材料の品質・規格・施工要領などを詳しく定めた仕様書とを「設計図書」という。また、仕様書には、その工事の標準的なことを記載した「標準仕様書」と、特にその工事だけに限定した（ ）とがある。

- イ 見積書
- ロ 特記仕様書
- ハ 原価報告書
- ニ 施工台帳

設問48

文中の（ ）に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

基礎日額とは、作業者の日当の平均値とその（ ）費用を加えた労務費である。

- イ 直接的な
- ロ 間接的な
- ハ 法定福利
- ニ 損害補償

設問49

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」（品確法）で、新築住宅のある部分について瑕疵担保責任期間が10年に義務づけられたのは、「雨水の浸入を防止する部分」と何か。

- イ 構造耐力上主要な部分
- ロ デザインに関する部分
- ハ 防犯に関する部分
- ニ 日照に関する部分

設問50

品質管理に取り組むための基本的な手法に当てはまらないものはどれか。

- イ KYK
- ロ 散布図
- ハ チェックシート
- ニ パレート図

設問5 1

施工段階で実現する品質は、次のうちどれか。

- イ ねらいの品質
- ロ 出来ばえの品質
- ハ 企画品質
- ニ 使用品質

設問5 2

品質管理に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ P D C Aサイクル
- ロ ヒストグラム
- ハ 新規入場者教育
- ニ Q C的なものの見方・考え方

設問5 3

文中の（ ）に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

近年、ゼネコンは専門工事業者に対して、（ ）による責任施工を求める傾向が強まっている。

- イ 経験
- ロ 工事実績
- ハ 事業主
- ニ 自主管理

設問5 4

I S Oとは、次のうちどれか。

- イ 国際刑事警察機構
- ロ 国際郵便
- ハ 国際宇宙ステーション
- ニ 国際標準化機構

設問55

移動式クレーンの災害防止の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 移動式クレーンのアウトリガーは最大限に張り出し、軟弱地盤上では鉄板を敷くなどして地盤の養生を行う
- ② いかなる場合も定格荷重を超えて負荷させることはできない
- ③ 過負荷防止装置、移動式クレーンの過巻防止装置、外れ止め装置等の安全装置は安全衛生責任者が解除する
- ④ 吊り上げた荷の下に玉掛けを行う者以外の作業者を立ち入らせてはならない

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問56

ヒューマンエラー対策の本質安全化の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① みんなが本気になって安全活動の取り組みを実施し、災害未然防止を実現することである
- ② 職長が人的対策に特化して、本人の自覚を促すよう安全衛生教育を行うことである
- ③ フェールセーフとは、作業者がミスをして事故や災害にならない機能を備えていることである
- ④ フールプルーフとは、機械や設備が壊れても事故や災害にならない機能を備えていることである

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問57

熱中症予防の作業管理の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 梅雨から夏季になる時期において、気温が急上昇した高温多湿作業場所で作業する場合、作業員は熱に順化していないことに注意する
- ② 自覚症状が現れたら、作業中の水分・塩分の定期的な摂取を指導する
- ③ 代謝率レベルで身体作業強度が低い作業を避ける
- ④ 休憩時間を確保し、高温多湿作業場所の作業を連続して行う時間を短縮する

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問58

異常気象に対する備えや対応の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 緊急連絡表を作成し、関係連絡先、担当者及び電話番号を記入し、事務所、詰所等の見やすい場所に表示しておくといふ
- ② 強風時の対応として、瞬間風速が10mに達したら作業を中止するといふ
- ③ 震度4の中震以下の地震では、特に作業を中止しなくてもよい
- ④ 大雨とは1回の降雨量が25mm以上、大雪とは1回の降雪量が25cm以上のことである

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問59

安全指示の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 安全指示を出す人は、いつも毅然とした態度で臨み、例外は認めない、安易な妥協はしないようにするといふ
- ② あいまいな指示をなくすには、いつ(When)、どこで(Where)、誰が(Who)、何を(What)、なぜ(Why)、どのように(How)を明確にするといふ
- ③ 指示には主語をつけ、「誰が」行うかを明確にするといふ
- ④ 大人数では他人事とってしまう作業員が出やすいので、指示はできる限り少人数で行い、一人ひとり当事者意識を高めるとよい

イ 0 ロ 1 ハ 2 ニ 3

設問60

リスクアセスメントの記述として、正しいものはどれか。

- イ 危険有害要因のことをリスクという
- ロ 残留リスク対策を繰り返して、リスクをゼロにすることが重要である
- ハ 管理的対策としては、マニュアルの整備と教育の実施の他、現場では危険を認識させる張り紙等の表示も有効である
- ニ リスクアセスメントは、毎日の朝礼時にあらゆるリスクを想定してできるだけ多くの危険のポイントを周知するといふ